

平成26年度 学校運営の基本構想 ～「明日の登校を待ち望む神川小学校」づくり～

学校教育目標

「確かな学力・思いやりの心・家庭、地域との共汗」

めざす子ども像<伝統と文化を受け継ぎ、次代と自らの未来を切り拓く子ども>

- * 確かな学力を身につける子ども
- * 人、自然、ものに優しくできる子ども
- * 自分の思いをことばで表現できる子ども
- * 地域に誇りをもち、地域を愛する子ども
- * 進んでいさつができる子ども

めざす教職員像<確かなビジョンと力量を持つ教職員>

- * やさしく厳しい姿勢で人に接する教職員
- * 共通理解したことは最後まで共通実践できる教職員

めざす学校像<市民ぐるみ・地域ぐるみの教育の核となる学校>

- * 子どもの学びの姿勢を確立し、確かな学力をつける学校
- * 久我という地域の強みを生かせる学校
- * 家庭、地域と連携し共に汗する学校

経営方針

自分の夢をしっかりともち、その実現に向けて、自分で考え、判断し、目を輝かせてたくましく、そして思いやりの心をもって活動する子ども=「確かな学力を身につけ、思いやりの心をもつ子ども」を育てるため、取り組むべき課題を学校・家庭・地域が共有し、ともに汗をかく中で「明日の登校を待ち望む学校づくり」を徹底して行う。

○「勉強がわかる、活動が楽しい学校」

教職員は学習時間の確保、授業の質的向上に全力で取り組むとともに、子どもたちが主体的に行動する、達成感・充実感のある活動や行事の工夫を行う。

○「自分が認められ、安心して生活できる学校」

教職員は全ての教育活動を通して、互いを認め合い尊重する人権教育を徹底し、いじめや暴力を絶対に許さない学校づくりを行う。また、きまりを守ることの大切さや社会における規範など、地域社会に生きる人として必要な決まりの指導を徹底する。

○「保護者・地域に信頼され、共汗の教育活動のある学校」

教職員は家庭や地域と共に汗する取組を積極的に進め、地域や社会の要請や信頼にスピード感をもって応える学校づくりを行う。

○「信頼できる、大好きな教職員がいる学校」

教職員は日々研修に努め、相互に啓発・連携する同僚性と活気あふれた学校運営組織の確立をめざす。

«学校教育目標の具現化に向けた取組の柱»

* 基礎・基本的な知識・技能の習得とその活用を目指した学習活動の充実(確かな学力)

◇普通授業の充実(算数科を切り込み口にした研究と実践)

- ・ わかる授業、できる喜びを十分に味わうことのできる授業の構築

子どもたちが主体的に学び、確かな学力を身につける取組を進める。

- ・ 言語力(思考力・判断力・表現力)の育成

今までの校内研究で大切にしてきた筋道を立てて考える力や見通しを持って問題解決に向かう力や、自分の考えを相手に的確に伝えたり、相手の考えを的確に受け取ったりする力(コミュニケーション力)などを総合的に身につけ、生活の中に生かす力=「生きる力」の育成を図る。

- ・ 協力指導体制の充実

学級担任だけでなく、多くの教職員がそれぞれの立場から支え合う協力指導体制づくりや家庭学習の充実も、学力向上に有効に機能させていきたい。

- ・ 若手道場の推進

若年教員に対し、指導主事やベテラン教員からの指導や相互の実践交流の中で力量を高める。

◇ 生きる力を育む「道徳」「英語」「生活科」「総合的な学習の時間」の充実・推進

- ・ 「育てたい力」の共通理解、「他の教科学習等との関連」の明確化

◇ 子どもが主体的に取り組める家庭学習の工夫・改善(家庭学習の手引き等の活用)

- ・ 家庭学習の習慣化を図り、各学年に応じた家庭学習の実施

* 豊かでたくましくやさしい心と健やかな体の育成(思いやりの心)

◇ 規範意識・自己有用感の向上と定着

- ・ 全ての子どもが安心して学べる環境構築のため、毅然とした粘り強い指導の徹底
- ・ 自己有用感や自尊感情を育み、他人を思いやる心、共生の心の育成(人権学習の一層の充実)
- ・ 相手を大切にする言葉遣い・あいさつ、きまりを守る意識の高揚

◇ 「いじめ」を許さない集団作りの推進(いじめ防止基本方針の策定)

- ・ 学級集団作りと教職員のきめ細かい見取りを徹底し、未然防止に向けての取組を充実

◇ 支援を必要とする子どもへの全校的な指導体制の徹底

- ・ 保護者、総合育成支援員、スクールカウンセラー、関係機関との連携
- ・ 全教職員の子どもの理解、課題の共有の徹底

◇ 子どもの背景まで踏みこんだ子ども理解と指導の徹底

- ・ 家庭との連携、意図した家庭訪問、望ましい生活習慣の形成
- ・ 子どもと向き合う大切な時間の確保(見通しをもった指導計画による時間確保)

◇ 進んで体を動かすことが大好きな子どもづくりの推進

- ・ 運動、スポーツの楽しさや喜びを味わえる体育指導の工夫・改善

* 地域ぐるみの教育の推進(家庭・地域との共汗)

◇ 学校・学年・学級だより、ホームページ等による学校・学級の取組等の情報発信の推進

◇ 家庭・地域との協働体制の充実と推進

- ・ 教育支援ボランティア推進(放課後まなび教室・土曜塾)
- ・ クラブ活動・課外活動(篆刻、茶道)の充実やスポーツ部活動(バレー、サッカー、バスケットボール、陸上)との連携、保幼小中連携の取組の推進
- ・ コミュニティ・ティーチャー(地域のすぐれた人材)の計画的導入や地域行事への積極的な参加

◇ 学校評価システムを生かした運営の推進(「育てたい子ども像」と「評価」の共有と行動)